



霞台小だより

ひばり

No. 686

令和 5 年 10 月 31 日 発行

青梅市立霞台小学校

校長 佐藤 広明

成長の可能性

校長 佐藤 広明

10月の体育学習発表会では、当日子どもたちはもてる力を発揮し、観客の皆さんの大きな拍手にやりとげた気分を味わい、一段成長できたと感じます。また、徒競走のゴールでは、1番でテープを切って満面の笑みの子や最後に抜かれて、悔しさがにじみ出ている表情の子など、ここまで力いっぱいやり切ったからこそその姿を見ることができました。

先月、将棋の藤井七冠（当時）は、王座決定戦で永瀬王座を破り、史上初の八冠を達成しました。4局の終盤、将棋AIは永瀬王座99%の勝利確率を表示しました。こんな状況になっても、藤井七冠は勝利への意欲をもち、永瀬王座の一手を鈍らせ勝利しました。勝利への強い想いとこれまでの努力と経験が、最終的に勝ちをもたらす結果につながったのではないかと思います。困難に立ち向かい対応し一戦一戦成長していく藤井八冠の姿は本当にみごとです。

目標に向かい、自分に自信をもって自分の力を信じ、ものごとに取り組み進めることができると何事にもプラスの力が働いていくことにつながります。大人以上に子どもたちには、見えていない力を発揮できるチカラがあるのです。

遥か昔、地方の高校に通う私が受験生になる2年生末に、焦りを感じていました。2つの受験科目の学習がどうしてもうまくいかずひっかかり、目標とする結果が出ず、焦りだけが先走っていたのです。この時、ふと、自分が得意としているのではと思いついた他の科目がありました。もしかしたら、これで突破できるかもと、当時の自分はこのひらめきをもとに、自分の力を信じて決心しました。

自分で思いついた高校で履修していない2つの科目を受験科目と決め、自宅で独学を始めたのです。当然教えてくれる先生はいません。授業もありません。当時学べるものは本屋にあった参考書のみ。その一冊の参考書だけを頼りに、使い尽くし、自分を信じて最後まで自分で学び受験をしました。共通テストの結果は予想を超え、当時の担任から「これじゃ、教師はいらなかったじゃないか」と大いに笑われましたが、褒めてもらえたことを忘れられません。

子どものいろいろなものごとへの取り組みや努力は、大人では得ることの難しい成長の可能性を伸ばしていくきっかけになることがあります。正に小学校での学習や生活や家庭での様々な経験は、新しいことを吸収し、力に変換していこうとしている毎日なのです。成長の可能性はいろいろなところに存在しているのです。

学校は、子どもたちが日々の様々な経験をよりよい力に変えていけるよう、さらに創意工夫をしていきます。